

62											
施策名	デジタル等を活用した大学づくりの推進										
担当課	地域活力推進課										
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学等においては、遠隔授業の実施を余儀なくされ、オンラインの活用が急速に進んでいる。</li> <li>・こうしたデジタル化の急激な進展の中で、大学等では、デジタルの活用による教育の質の向上や、今後ますますニーズが高まると予測されるデジタル人材の育成等、大学におけるトランスフォーメーションを進めることが急務となっている。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたデジタル化の急激な進展に対応した魅力ある大学づくりのため、県内大学等のデジタル等を活用した教育環境の整備のほか、デジタルトランスフォーメーションが進展する社会を牽引する人材を育成するための大学の取組等を支援する。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルトランスフォーメーションに対応した大学づくり</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	デジタルトランスフォーメーションに対応した大学づくり	—	—	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
デジタルトランスフォーメーションに対応した大学づくり	—	—	推進								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 150px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     感染症に強い大学づくり推進（遠隔授業環境整備等）                 </div> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     デジタル等を活用した大学づくり推進                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     感染症に強い大学づくり推進（遠隔授業環境整備等）                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     デジタル等を活用した大学づくり推進                 </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     感染症に強い大学づくり推進（遠隔授業環境整備等）                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     デジタル等を活用した大学づくり推進                 </div>									

63									
施策名	情報通信交流館における人材育成・普及啓発								
担当課	情報政策課 ※1								
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発								
現状と課題	<p>・スマートフォン等の普及や身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる I o T の進展、さらには人工知能やロボット等の最先端技術の開発が進むなど、情報通信技術が日々進化を続けており、県民がこうした状況変化に対応できるよう、情報通信交流館（eーとぴあ・かがわ）では、次の事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 最新の I C T を体験しながら学習できるイベント・ワークショップの開催</li> <li>- ロボットプログラミング（ロボット入門、ロボット・ラボ、プログラミング・ラボ）</li> <li>- デジタル映像制作人材の育成</li> <li>- 情報モラル・セキュリティ出張講座</li> <li>- 県内の教育機関、各種団体等と連携した各種セミナー・イベントの実施 等</li> </ul> <p>・平成 30 年度からは、香川大学と連携し、オープンデータを利用し様々な視点から可視化できるアプリ（ソフトウェア）の開発を通じて、データの取込から、蓄積・加工・可視化、データに基づく知識発見に至るまでの一連のデータ利活用プロセスを体験できる地域情報利活用アプリ開発講座を開設している。</p> <p>・令和 2 年 11 月には「Setouchi-i-Base」を整備し、各種人材育成講座を実施するとともに、活動・交流の場を提供している。</p>								
取組の方向性	<p>・情報通信交流館では、これまでの事業を基本的に継続しつつ、I o T やロボットなど、次の新しい時代に対応できる人材の育成が求められていることから、子どもたちが、ロボット教材等を使用した I o T の仕組みを体験する講座や、デジタル映像を制作する技術を学ぶ講座などの事業を実施する。</p> <p>・「Setouchi-i-Base」において、アプリ開発や A I ・ I o T の導入などに関する実践的な講座やセミナーを実施することにより、情報通信関連分野の人材育成を推進する。</p>								
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">人材育成事業・普及啓発事業の実施</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	人材育成事業・普及啓発事業の実施	推進	推進	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)						
人材育成事業・普及啓発事業の実施	推進	推進	推進						
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> </td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度					
R1 年度	R2 年度	R3 年度							

64											
施策名	ドローン安全性確保の推進										
担当課	くらし安全安心課										
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン（小型無人機）は急速に普及が進んでおり、ビジネスや趣味、災害対応等、様々な分野で利活用が広まっているが、その一方で、落下事案等が発生しており、安全の確保が重要な課題となっている。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン（小型無人機）の安全利用について、県民の理解を深めるため、安全講習会を開催する。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>指標</th> <th>当初 (H30 年度)</th> <th>現状 (R2 年度)</th> <th>目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドローン安全性確保</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	ドローン安全性確保	—	推進	推進
	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)							
ドローン安全性確保	—	推進	推進								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="height: 100px; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     ドローン（小型無人機）の安全利用に関する安全講習会を開催                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     ドローン（小型無人機）の安全利用に関する安全講習会を開催                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     ドローン（小型無人機）の安全利用に関する安全講習会を開催                 </div>											

65											
施策名	I C T 機器を活用した林業を担う人材の育成										
担当課	みどり整備課										
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の全ての市町が林業の専門職員を配置しておらず、また、ほとんどの市町で担当者が1人であり、かつ他業務と兼務する体制となっている。</li> <li>・ 近年、森林経営管理法の施行や森林環境譲与税制度の開始など、専門的な知識が求められることが多くなる中、森林所有者の確認、森林施業への意向確認、現地確認など多大の労力が必要になっているなど、森林・林業行政を推進するうえで、様々な課題が生じている。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間伐などの森林施業の前に行っている現地確認や測量調査等について、ドローンを始めとする I C T 等の先端技術を活用した森林施業の効率化・省力化に関する研修を開催するなど、市町の体制支援を図る。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">0 回</td> <td style="text-align: center;">2 回</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催	—	0 回	2 回
	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)							
I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催	—	0 回	2 回								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催                 </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 機器を活用した市町職員向け研修の開催                 </div>									

66													
施策名	I C T を活用した教育の情報化の推進												
担当課	教育委員会事務局総務課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課												
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発												
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領において、小・中学校、高等学校、特別支援学校の発達段階に応じて、コンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を収集・整理・比較・発信・伝達する力の育成やプログラミング教育の充実などを図ることが求められている。</li> <li>・第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）において、今後5年間の教育政策の目標と施策群の一つとして、「I C T 利活用のための基盤の整備」が掲げられている。</li> <li>・G I G A スクール構想により、小学校から高等学校において、学校における高速大容量のネットワーク環境（校内 L A N）の整備を推進するとともに、令和2年度中に義務教育段階の全学年の児童生徒1人1台端末環境が整備されることになった。</li> </ul>												
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校、高等学校、特別支援学校において、プログラミング的思考や I C T の活用などを通して、情報活用能力の育成を図る。（プログラミング教育、情報モラルの育成ほか）</li> <li>・G I G A スクール構想の実現により、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても学習が継続できることを目指すとともに、I C T を効果的に活用した新しい時代の学びの実現を図る。</li> <li>・I C T を効果的に活用するためには、教員が I C T を活用して授業を分かりやすくすることや児童生徒に情報活用能力を指導することが必要であるため、教員に対する研修を充実させる。</li> <li>・探究型の学習活動を充実させるため、県立学校にタブレットパソコン・電子黒板・無線 A P 等の I C T 環境整備を進める。</li> <li>・障害の状態に応じた情報保障やコミュニケーションの方法、教材の提示等について活用を図る。</li> <li>・小・中学校における学習者用デジタル教科書の導入については、デジタル教材と一体的かつ効果的に活用するための先進事例の収集・伝達に努める。</li> </ul>												
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">I C T 環境の整備</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	I C T 環境の整備	推進	推進	推進				
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)										
I C T 環境の整備	推進	推進	推進										
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">情報活用能力の育成</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">I C T 環境の整備</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">教員の I C T 活用指導力の育成</td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度	情報活用能力の育成			I C T 環境の整備			教員の I C T 活用指導力の育成		
R1 年度	R2 年度	R3 年度											
情報活用能力の育成													
I C T 環境の整備													
教員の I C T 活用指導力の育成													

67									
施策名	教職員のオンライン研修の推進								
担当課	教育委員会事務局総務課								
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発								
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度から、教育センターの W e b サイトに公立学校教職員を対象とするオンライン研修サイトを開設し、教職員研修の効率的・効果的な受講方法の一つとして活用している。</li> <li>令和元年度から新規採用内定者を対象に、令和 2 年度から私立学校教員を対象に研修教材の提供を開始した。</li> <li>令和 2 年度は、コロナ禍の影響により中止とした集合研修の研修教材提供において、大きな役割を果たした。</li> <li>研修教材の制作、カスタマイズ等に係る人員の確保が必要である。</li> </ul>								
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>段階的にコンテンツを充実させるとともに、自己研修、校内研修用教材としての利用促進のための手立てを検討し、効率的・効果的な利活用の推進を図る。</li> <li>令和 3 年度以降は、教職員の研修に係る負担軽減のため、本研修サイトの教材を活用した効果的なオンデマンド型研修等の推進を図る。</li> </ul>								
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">指標</th> <th>当初 (H30 年度)</th> <th>現状 (R2 年度)</th> <th>目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン研修サイトの利用</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	オンライン研修サイトの利用	推進	推進	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)						
オンライン研修サイトの利用	推進	推進	推進						
工程表	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">R1 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R2 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> コンテンツの充実                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利用環境の改善                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利活用の推進                 </div> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> コンテンツの充実                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利用環境の改善                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利活用の推進                 </div> </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> コンテンツの充実                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利用環境の改善                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">→</span> 利活用の推進                 </div> </div>									

68												
施策名	デジタル化に対応した産業教育の推進											
担当課	高校教育課											
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発											
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校の専門学科は、職業との関連が深い実践的な教育を行うことにより、専門的な知識・技能や創造力、応用力等の育成を行ってきた。一方、経済のグローバル化や国際競争の激化、産業構造の変化、技術革新・情報化の進展に伴い、職業人として必要とされる専門的な知識・技能は高度化している。</li> <li>・国の令和2年度第3次補正予算において、高等学校段階における I C T 化を推進するため、職業系の専門高校におけるデジタル化に向けた産業教育装置の整備の予算を計上しており、県では、この国の補助金を活用して、産業教育装置の整備を図る。</li> </ul>											
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業や農業等の高等学校の専門学科において、より高性能なデジタル化に対応した産業教育機器等の整備の推進を図る。</li> <li>・デジタル化に対応した産業教育機器等を、生徒に操作させる機会を増やすことで、デジタルトランスフォーメーションに対応できる力をつけた、即戦力となる人材を育成する。</li> </ul>											
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>指標</th> <th>当初 (H30 年度)</th> <th>現状 (R2 年度)</th> <th>目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタル化産業教育機器の整備</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	デジタル化産業教育機器の整備	—	推進	推進	
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)									
デジタル化産業教育機器の整備	—	推進	推進									
工程表	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">即戦力となる人材の育成</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">デジタル化産業教育機器の整備</td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度	即戦力となる人材の育成			デジタル化産業教育機器の整備		
R1 年度	R2 年度	R3 年度										
即戦力となる人材の育成												
デジタル化産業教育機器の整備												

69											
施策名	自立活動 I C T 活用事業の推進										
担当課	特別支援教育課										
該当する基本方針	(7) 人材育成、普及啓発										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G A スクール構想のもと、タブレット端末や無線 L A N 等、日常的に I C T 機器を利用したり、遠隔授業をしたりできる環境整備が進んでいるが、自立活動の指導への I C T 活用についてはこれからの課題である。</li> <li>・ 感染症対策等により、学校隣接の病院に入院している児童生徒が学校に登校できなかったり、教員が病棟に訪問できなかったりといった状況が続いており、遠隔授業についての取組が求められている。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための自立活動の指導において、個別最適化された補助手段としての効果的な I C T 活用や、対面による指導が難しい際の遠隔授業による学びの可能性等を研究する。</li> <li>・ I C T を活用した自立活動の指導について、県立特別支援学校 8 校と連携しながら、実践的研究を行い、好事例を収集して情報発信していく。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICT を活用した自立活動の指導の実践</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	ICT を活用した自立活動の指導の実践	—	—	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
ICT を活用した自立活動の指導の実践	—	—	推進								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究                 </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究                 </div>									